



理工系学部における人材養成輩出の現状と展望

理工系での物理教育に求められる役割とその課題

日本物理学会では、毎年春に物理教育シンポジウムを開催しています。第1回は「新時代の物理教育を探る」と題して、国内外での物理教育改革の例、物理教育のコース設計と質の保証など、21世紀の物理教育のあり方全般について議論しました。第2回は「高校の物理、大学の物理」と題して、高校・大学間の接続を意識しながら、物理カリキュラムの全体像を俯瞰しました。第3回は、「大学の理数系教育と社会との接続」と題して、産業界で理数系学生を受け入れる側の視点から、理数系教育のあるべき姿を模索しました。

第4回では、理工学系学部における人材養成を主題とします。高校で物理を履修した学生の大半は、物理学科・応用物理学科だけでなく、電気電子や機械などの理工系学部学科に進学しています。本シンポジウムでは、広く理工系全般における学部での人材養成の現状を俯瞰しながら、物理教育に求められる役割とその課題を再認識したいと考えています。

【日時】 2013年3月31日(日) 13:00～16:30

【場所】 東京大学 小柴ホール (東京都文京区本郷7-3-1)

【プログラム】

13:00～13:15 開会挨拶—理工系の物理教育に関する発題—

三沢 和彦 日本物理学会 物理教育委員長

13:15～14:00 「香川大学工学部の教育方針とカリキュラム—理科教育を中心に—」

中西 俊介 氏 香川大学工学部

14:00～14:45 「金沢工業大学の数理工基礎教育—数理工教育研究センターの実践」

青木 克比古 氏 金沢工業大学数理工教育研究センター所長

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 総合討論 (90分)

参加費： 無料

事前申込み先： 電子メールkouza-at-jps.or.jp (-at- を @ に置き換えて下さい)、またはFAX 03-3816-6208で、①氏名、②職業、③電子メールまたは電話番号をご記入の上、3月28日(木)までにお申し込みください。当日の参加申し込みも受け付けますが、参加者数等の把握のため、事前の申し込みをお願い致します。お預かりした個人情報はシンポジウム運営にのみ使用します。

問合せ先： 日本物理学会事務局 物理教育委員会
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル8階
TEL：03-3816-6201 または上記電子メール宛